



National Institute of Technology, Toyama College



- 02 校長あいさつ／役職者一覧
- 03 平成30年度入学式
- 04 新入生を迎えて
- 05 新入生の言葉
- 06 専攻科紹介
- 08 附属センターの紹介
- 10 学生会活動と学生寮から
- 12 高専祭～北斗祭～
- 14 新任教員紹介／学級担任／学生相談室からのお知らせ
- 15 校務分担
- 16 News & Topics / 入試関連イベント



コミュニケーション ネットワークの構築

校長 賞雅 寛而



入学生諸君は入学後4カ月余りが過ぎましたが、本校、富山高
等専門学校の生活はいかがでしょう？

我が国及び世界の物流構造・交通網変化、環境要因、経済的・
社会的変化は、膨大なビッグデータを活用するIoT技術・深層学
習型次世代AI技術及び第5世代移動通信システム(5G)などの全
世界的な新技術の展開により、今後20年、30年と一層激しくな
ると予想されています。

この非常に変化の激しいグローバル社会において、適切な選
択判断力を育むためには、自分の知識・経験だけでなくいろ
んな立場からの第三者的なアドバイスが不可欠になりますので、
本校における日々の生活において信頼できる先輩後輩・仲間と
のそして先生方とのコミュニケーションを通じて自分のネット
ワークを構築する練習をしていかなければなりません。

コミュニケーションネットワーク形成の場としては、授業だけで
なく、クラブ活動やサークル活動が、寮に入る学生には寮の共同
生活があります。また、本校は全国でも有数の国際性豊かな学び
の場であり、国際感覚を身につけることができる環境を常に提供
していますので、皆さんは国境や宗教を越え、より広い視野に
立って、素晴らしいネットワークを構築することができるでしょう。
学生諸君には、これらの人との出会い、そして共同体験を大切に
して、他者とのコミュニケーションを構築する術をしっかり学んで
ほしいと思います。

入学生諸君が、本校の恵まれた環境の中で、社会に出てからは
なかなかできない経験にチャレンジするカレッジライフを過ごし、
幅広く物事を判断できる人間に、そしてどのような社会でもコ
ミュニケーションネットワークを自ら構築できる人間に、大きく成
長していくことを、我々教職員一同は心から願っています。

役職者一覧

校長	賞雅 寛而	機械システム工学科長	(機械)教授 岡根 正樹	ソリューションセンター長	(物質)教授 袋布 昌幹
副校長(本郷)	(機械)教授 寺西 恒宣	電気制御システム工学科長	(電気)教授 西 敏行	国際教育センター長	(商船)教授 保前 友高
副校長(射水)	(商船)教授 水谷 淳之介	物質化学工学科長	(物質)教授 高廣 政彦	図書館情報センター長	(電子)教授 椎名 徹
校長補佐・教務主事	(電気)教授 柴田 博司	電子情報工学科長	(電子)教授 小熊 博	臨海実習場長	(商船)教授 笹谷 敬二
校長補佐・教務主事	(電子)教授 塚田 章	国際ビジネス学科長	(国際)教授 西原 雅博	事務部長	渡邊 悟司
校長補佐・学生主事	(物質)教授 川淵 浩之	商船学科長・機関コース主任	(商船)教授 山本 桂一郎	総務課長	池田 裕計
校長補佐・学生主事	(電子)教授 水本 巖	商船学科航海コース主任	(商船)教授 河合 雅司	管理課長	村道 俊一
校長補佐・寮務主事	(一般教養(本郷))教授 日比 端洋	一般教養科長・主任	(一般教養(本郷))教授 高熊 哲也	学務課長	戸田 克己
校長補佐・寮務主事	(商船)教授 梶 伸司	一般教養科主任	(一般教養(射水))教授 河合 均	学生課長	笹岡 博史
校長補佐・専攻科長	(電子)教授 阿蘇 司			統括技術長・実習工場長	早川 幸弘
校長補佐・入試広報センター長	(物質)教授 河合 孝恵				
校長補佐・研究高度化推進センター長	(電気)教授 高田 英治				
校長補佐・海外戦略担当	(一般教養(本郷))教授 青山 晶子				

平成30年度 入学式

Entrance Ceremony



平成30年4月5日、富山市オーバード・ホールで入学式が挙行されました。

賞雅校長は式辞において、成長著しい時期を過ごしている若者に、高度な専門教育を基礎から徹底して早期に行うことが高等専門学校の特質だと指摘した上で、本校において、よき友人や信頼できる師を得て、より広い視野に立って、コミュニケーションネットワークを築き、勉学に励んでもらいたい。変化の激しいグローバル社会において、適時適切な選択・判断をなす力を育むためにも、自らの経験や知識だけに頼ってはいけない。学生仲間や教職員から第三者的なアドバイスを得てほしい。新入生の今後の活動

に大いに期待する——と激励いたしました。

本科新入生代表の電気制御システム工学科の並河良治さんは、新たに始まる学校生活では、自ら主体的に考え行動したい。知識や技術を身につけるとともに、自身の人間性を高めていきたい、と清新で希望に満ちた決意を宣言しました。

専攻科新入生代表の制御情報システム工学専攻の小西朋春さんは、今後の人生の道を切り拓く貴重な2年間であることを自覚し、高度な専門知識を探究したい。技術者・専門家に必要な研究・開発能力の向上をめざしていきたい、とさらなる成長への意欲を表明いたしました。

平成30年度新入生数

本科

機械システム工学科	41名
電気制御システム工学科	42名
物質化学工学科	42名
電子情報工学科	44名
国際ビジネス学科	40名
商船学科	42名

外国人留学生(本科3年次編入)

機械システム工学科	1名(タイ)
物質化学工学科	1名(マレーシア)
電子情報工学科	1名(モンゴル)

専攻科

エコデザイン工学専攻	18名
制御情報システム工学専攻	11名
国際ビジネス学専攻	3名



電気制御システム工学科1年 並河良治さん



制御情報システム工学専攻1年 小西朋春さん

新入生を迎えて

本郷キャンパス

学年代表
機械システム工学科
1年担任
高越 義一



新入生の 皆さんに願うこと

入学式から3カ月近くが経ち、1M41名は90分授業やクラブ活動、寮生活など、生活・学習面での大きな変化にもようやく慣れてきました。全員が心配していた中間試験も何とか乗り越え、合宿研修でも新たな友達との交流があり、今は一人ひとりが落ち着いて毎日の高専生活を楽しくしているように思います。

今後は時間を有効に活用して様々なことに挑戦し、他者との関わりから自分を見つめ、よさを発見してほしいと願っています。また、感謝の気持ちや思いやりも大切に、まとまりのあるクラスを築いてきましょう！

本郷キャンパス

電気制御システム工学科
1年担任
笠谷 昌弘



学生としての 5年間

新入生の皆さんが高専に入学して、そろそろ新しい生活にも慣れてきた頃でしょう。さて、皆さんは「学生」としての自覚を持って過ごしていますか。自分のやるべきことを考え、自ら課題を見つけていますか。与えられた宿題を消化するだけで安心し、暇があればスマホを見ていませんか。日々のちょっとした意識の違いが、5年後には大きな違いとなって現れるはずです。卒業する際、皆さんがより逞しい姿となっていることを願っています。

本郷キャンパス

物質化学工学科
1年担任
紙谷 智



自由と期待と 責任と

教育理念に示されている通り、高専では「自主・自律」を重んじます。中学までとは違った「自由」の裏には、学生としてあるべき姿を自覚し、自制心をもって行動できることへの「期待」と、そのためになすべきことへの「責任」があります。「いま何をすべきなのか」をいつも自らに問いただし、高専生活の始まりとなる大切な1年を過ごしてほしいと願っています。

射水キャンパス

電子情報工学科
1年担任
大竹 由記子



どんどん 失敗しよう！

表題は、最初のホームルームで学生に伝えたことだ。筋トレでもそうだが、当たり前になさることをしても能力は向上しない。自分の実力よりちょっと上に挑戦することが、成長につながる。ただ、実力より上を目指せば、失敗することも出てくる。失敗するのは誰だって嫌だろう。しかし、全く失敗しない人というのは、全く挑戦しない人、全く成長しない人でもある。どうか、その後に続く未来のために、恐れずどんどん失敗してほしい。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
1年担任
星野 朱美



実りある5年間の 学生生活を 送きましょう

皆さんはこれから高専で5年間を過ごしていくこととなります。高専は高校とは異なることが多いので、勉強の方法、勉強と部活の両立や寮生活などで、きっと戸惑いや不安も多いと思います。まず、焦らずに自分のことから始めましょう。勉強は毎日の予習復習と宿題をこなすことが大事だと思います。部活や行事には積極的に参加しましょう。自分がやってみたいことに精一杯挑戦して、実りある学生生活を送りましょう。

射水キャンパス

商船学科
1年担任
櫻井 秀人



なぜベストを 尽くさないのか

それは確かにいつでもベストを尽くしたいとは思いますが、人生において、つんのめるほど前のめりになってがむしゃらに努力し続ける期間はある程度必要だとも思う。ベストを尽くさず虚勢を張る姿は見苦しくて私は嫌いだ。しかし、頑張りたくても辛くて前に進めない、目の前が真暗で身動きがとれず、本当に途方もなく苦しい時には、立ち止まるという選択がベストなこともあるだろう。それも忘れないでほしい。あなたはいまベストを尽くしているか。それは本当にあなたのベストか。

新入生合宿研修

6月18-19日 国立能登青少年交流の家



オリエンテーリング



校歌練習

新入生の言葉

本郷キャンパス

機械システム工学科
1年

清水 瑠依華



高専生活を 楽しむために

行きたかった高専に入学して、約2カ月経ち90分の授業にも慣れてきましたが、最初の方は、他学科に友達ができないのではないかと心配していました。しかし、今年から混合授業が始まり、一緒に授業を受ける機会があったため他学科の友達もつくることができました。部活では、優しい先輩方、同級生と共に活動ができ、とても楽しいです。学習面では、わからなかったところは、先生方に気軽に聞きに行くことができるため、理解がしやすいです。これから、もっと学業と部活を両立できるように努力していきたいです。

本郷キャンパス

物質化学工学科
1年

田村 開智



文武両道を 目指して

僕は化学に関する専門知識を、普通の高校で学ぶよりも早く専門的に学びたいと思って高専に入学しました。入学してまず感じたことは、90分の授業が思っていたより大変だということです。中学校とは違い、一つの授業で学ぶ量がとても多く、予習をしなければ授業についていけないことを実感しました。今はまだ入学したばかりで、学校生活には慣れていませんが、勉強と部活動の両立のためにやるべきことを考え、前進していきたいです。

射水キャンパス

国際ビジネス学科
1年

金谷 美音



夢への第一歩

私達は、今後世界のグローバル化が進む社会で即戦力となれるビジネスパーソンになるために、国際ビジネス学科に入学しました。高専の授業時間は中学校よりも長く、覚える内容が多いためとても大変ですが、自主・自律の精神で日々の授業や部活動に励み、夢の実現に向かって頑張りたいと思います。また、5年間で共にするクラスの仲間と北斗祭やカッターレース大会などの多くの行事に積極的に参加し、充実した学生生活を送りたいと思います。

本郷キャンパス

電気制御システム工学科
1年

茂住 晃平



高専生に なって…

高専生になって、はや数カ月が経過しました。最初は90分授業がとても長く感じられましたが、今では、毎日集中して授業に取り組んでいます。高専では基本的な学習はもちろん、専門的な学習もあるので、毎日予習復習に取り組みたいです。また、高専ならではのキャンパスライフはとても自由度が高く、学生個々の自主性を養うことができるので、社会に出てからも使える応用的なことを学び、自主性を身に付けていきたいです。

射水キャンパス

電子情報工学科
1年

福島 航星



目標に向かって

入学式から約3カ月。親元を離れた生活や、専門的な勉強。初めての事だらけの大きく変わった環境の中、戸惑うことばかりで、最初は自分一人でやって行けるのかと不安もありましたが、個性的な同級生たちや先輩、先生方に助けられながら、忙しくも充実した日々を送っています。高専という恵まれた環境の中でクラスメイトたちと5年間、知識を蓄え、技術を身につけて、目標に向かって、コツコツと努力していきたいと思います。

射水キャンパス

商船学科
1年

時田 千輝



夢に向かって 全速前進

僕は今、高専生として商船学科生としてとても楽しく生活しています。また、立派な船乗りになるために一生懸命に勉強をしています。授業は90分と長く、勉強が大変だと感じることもありますが、クラスのみならず支え合い、教え合いながら日々頑張っています。僕達商船学科1年生は誰一人欠けることなく、これからも富山高専を盛り上げて引っ張っていきます。



6学科の新入生全体での記念写真



のとじま水族館にて

専攻科紹介

専攻科の特徴

専攻科長
阿蘇 司



専攻科は、本科卒業後に、さらに幅広い豊かな教養と高度な専門技術と知識を有する人材の育成を目指した2年間の教育課程です。工学系、人文社会系、商船系のそれぞれの専攻の修了生は、4年制大学と同じく「学士」の学位を取得できます。しかし、一般的な4年制大学にはない少人数教育の特徴があります。そのため、専攻科生による学術的研究の学外発表や、地域企業との交流、そして国際インターンシップなどの多くの機会に恵まれ、大学院進学や就職の選択肢も広がります。将来のキャリアデザインを描くうえで、貴重な学修経験を積むことができる専攻科を紹介します。

専攻科概要 目指す人材像：ディプロマ・ポリシー

エコデザイン工学専攻

- 1 工学全般の基礎知識を有し、技術力に優れたグローバルエンジニア
- 2 広い視野を有し、将来、研究・開発をリードする能力を備えた人材
- 3 人・地球との共生の精神を有した人材

国際ビジネス学専攻

- 1 企業・地域社会を取り巻く環境を分析し、それに適合するビジネスモデルを創生できる能力
- 2 ビジネスに関する問題の発見・解決に必要な知識と論理的思考力を身につけ、計画的に組織をマネジメントできる能力
- 3 国際的な経営感覚と倫理感を持ち、環日本海地域を舞台に活躍できるビジネスパーソンとしての素養

制御情報システム工学専攻

- 1 ものづくりを通して、知能システムやユビキタス環境を設計・構築・提案できる電子情報システム技術者
- 2 ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークのアーキテクチャ技術を身につけ、高度な情報化社会に貢献できる電子情報技術者
- 3 国際的な視野と倫理感に基づく価値判断ができる電子情報システム技術者

海事システム工学専攻

- 1 自然に優しく、人の営みを支える海事関連システムを設計・開発できる人
- 2 海・船・物流等に係わる知識・技術を身につけ、海陸の複合領域で活躍できる人材
- 3 地球環境の視点と倫理感を持ち、国際性を身につけた海事システム技術者

専攻科の5つポイント

1 少人数教育

専攻科の定員数は、全ての専攻を集計しても本科1クラス程度です。講義では、教員との対話や議論が重視され、密度の高い教育が行われます。専攻科生には、主体的に行動するリーダー力が求められます。少人数だからこそできる、学生主役の創造的実践性を重視しています。

2 研究開発経験

指導教員のもとで2年間の特別研究を行います。問題提起、調査、計画、実践、報告、そして新たな課題の発見に至る一連の過程を繰り返して体験し、社会人として必要とされる論理的思考能力を身につけます。研究成果は、専攻科生自身が国内外の学会等で研究者や大学院生と同じく発表しています。

3 国際インターンシップ

外国語を習得するだけでなく、異なる文化を理解して協調できる専門家を育成するために、国内のみならず、海外へのインターンシップを推奨しています。長期休業期間の約1カ月に、海外の在駐企業での就業体験や大学での研究課題に取り組みます。企業奨学金や学内支援も整備されています。

4 地域連携

富山高専専門技術振興会と連携した企業との共同研究をはじめとして、産業ニーズから提案された課題に取り組む課題発見型教育(PBL)にも取り組んでいます。また、地域産業を理解して専門と社会との関係を学ぶために、富山県機電工業会の協力のもと、企業人から直接に産業を学ぶ「地域産業学」を開講しています。

5 特例適用専攻科

本校専攻科は、大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たした「特例適用専攻科」に認定されています。教員ならびに教育課程は、大学改革支援・学位授与機構の審査を受けており、基準を満たした教育体制により教育を実施しています。

専攻科における特別研究

専攻科では、本科で取り組んできた研究を引き継ぎ、深化させることが可能です。職業研究者や大学院生に伍して、自らの研究成果を国内外の学会等で発表することになります。研究の独自性や発展性が認められ、表彰されることも少なくありません。

例えば、昨年度では、日本分析化学会第66年会(昨年9月10日)において、エコデザイン工学専攻1年の横田優貴さんが「水/2-プロパノール/フタル酸ジメチル系均一液抽出法を用いる六価クロムの高感度比色分析法の開発」で、若手ポスター賞を受賞しています。全国の大学等の若手研究者が発表する240件以上の発表の中から、秀でた成果を挙げ得た13件が同賞に選ばれています。この研究は、微量でも強い環境毒性を示す物質である六価クロムを短時間で微小の液滴に濃縮する技術を構築し、この濃縮技術を用いて液滴の色の濃淡による低濃度の六価クロムの目視分析法を開発したものです。



エコデザイン工学専攻 横田優貴さんと賞雅校長



制御情報システム工学専攻 牧野晃大さんと椎名教授(左)、賞雅校長(右)

制御情報システム工学専攻1年生の牧野晃大さんも「ドップラーレーダとディストロメータを用いた降水種類判別システムの構築」で、電子情報通信学会北陸支部学生優秀論文発表賞を受賞しています(本年2月2日)。本郷キャンパス校舎屋上に設置された小型垂直レーダから得られるドップラースペクトルをもとに、降水種類を高確度で自動判別できる実効あるシステムを構築したことが、電気関係学会北陸支部連合大会で高く評価され、特に優秀な論文として表彰されました。受賞者25名はもちろん、発表者の大部分が大学院生である中、高専生としてただ一人の受賞者となりました。

海外インターンシップ(いずれも8~9月に実施)

訪問国	受入先	期間
英国北アイルランド	南東地区連合カレッジ(SERC)	4週間
マレーシア	立山オートマシンマレーシア	2週間
タイ	タナカプレジジョン	2週間
	AMC	2週間
	キングモンクット工科大学ラカバン校	4週間
ハンガリー	バズマニー・ペーテル・カトリック大学	4週間
	ブダペスト工科経済大学	4週間

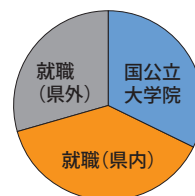


海外協定校等の外国人教員との英語による研究ディスカッション (Joint Cast) 北アイルランドにて

専攻科修了生の進路状況(過去5年間)

	射水キャンパス 3専攻計*	エコデザイン工学 専攻	計	構成比
国公立大学大学院進学	11	61	72	32.4
就職(県内)	30	55	85	38.3
就職(県外)	53	11	64	28.8
その他	0	1	1	0.5
就職計	83	66	149	67.1
修了生総計	94	128	222	100.0

*制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻の合計。



エコデザイン工学
専攻1年
青木 海都



これからの抱負

専攻科生になり2カ月が経ちました。本科とは異なり、研究活動やプレゼン発表等、より自主性が求められる機会が増えたと感じています。夏休みには1カ月間、ハンガリーの大学でインターンシップに参加する予定です。現地で行う研究は未経験な部分も多く、英語での議論が多くなると思います。事前に研究技術の基礎知識や英会話の学習等を行い、実りある経験にしたいと思います。

制御情報システム工学
専攻1年
小西 朋春



専攻科ならではの 経験をいかして

専攻科に入学して2カ月が経ちました。本科に比べ少人数のため、授業で発言できることが多くなり、より深い議論ができるようになりました。

私は、9月にハンガリーの大学のインターンシップに参加します。多様な人と関わることで、グローバルな視野を身につけ、意見の発信能力の向上を目指します。また、その経験をいかし、学会発表にも積極的に参加できるよう、高度な専門知識の探求や、特別研究に励みたいと思います。

附属センターの紹介

ソリューションセンター



ソリューション
センター長
袋布 昌幹

本校は日本海有数の工業県である富山県にある高専であり、卒業生・修了生の多くがそれら産業の最前線で活躍しています。本校から大学や大学院を経て就職する方々を含めると、県内就職率は全国高専でもトップレベルといわれています。近年の高度化・グローバル化する産業構造変革に向き合うために、企業も高専も様々な取り組みが求められています。それは企業、高専が独立して行うより連携、協働して行うことが望ましく、そのような産業界・地域との連携を担当しているのが本ソリューションセンターです。センターでは教員と企業との共同研究、地域産業などからなる全国高専最大規模の会員数を誇る富山高等専門学校技術振興会との連携、協働教育など、さまざまな活動をすすめています。



産学連携に関する研究会の開催風景



地域のイベントでのブース出展

研究高度化推進センター



研究高度化推進
センター長
高田 英治

高専では教員が最先端の研究に携わり、その成果をもとに教育を高度化することが求められています。研究高度化推進センターでは、本校教員と他機関研究者の研究連携推進や科学研究費補助金獲得支援などを通じ、本校研究の高度化を目指しています。また、本校は全国51の国立高専の中から「研究推進モデル校」に選ばれており、本センターが中心となって事業を推進しています。医薬工・計測、ナノ・材料、環境の重点研究部門を設定するとともに、外国人研究者を招いた国際セミナー（研究推進フォーラム）を開催するなどモデル校としての事業を推進しています。さらに、本校教員の先進研究を学生さんに紹介する機会を増加させていく予定です。ぜひ興味をもって聴講してください。



研究推進フォーラムでの専攻科生ポスター発表の様子

国際教育センター



国際教育センター長
保前 友高

国際教育センターは、本校の国際交流事業を担当しています。学生の皆さんが、主に夏休みの期間（2週間～4週間程度）に海外で学習／インターンシップ／研究活動をする機会を各学科、専攻科と協力して提供しています。また、タイ、シンガポールをはじめ各国から2～3カ月の間、本校で研究活動等を行う学生を短期留学生（年間20名程度）として受け入れる窓口を担当しています。その他、留学のための奨学金の応募の相談も受け付けています。本校の国際教育センターは、高校はもとより、一般的な高専、大学と比較しても充実した活動を行い、学生の皆さんが世界で活躍する技術者・ビジネスパーソンになるための環境を用意しています。積極的に活用してください。



シンガポールとタイからの短期留学生を交えて



シンガポールからの短期留学生

図書館情報センター

図書館情報
センター長
椎名 徹



図書館情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、学習・教育・研究等のために利用されています。オンライン蔵書目録OPAC等による書籍・電子ジャーナルの検索、オンラインサービス「MyLibrary」による図書の予約がキャンパス間で利用できます。情報センターでは、情報処理教育の導入から高度な専門教育の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。また、昨年度の高専統一ネットワーク導入に伴い、IEEE802.1X認証による無線LAN接続が各教室・会議室等において可能となっています。

本郷図書館・情報センター



本郷図書館は図書約77,000冊を所蔵し、学生の勉強、教職員の研究や教育、または楽しみのために、知的な刺激を提供しています。所蔵資料は理工学の専門書にとどまらず、英語多読本、資格試験問題集、数学参考書、最新の文芸書や文庫本、ライトノベルやDVD、内外の古典文学、歴史、哲学の専門書など多彩です。その時々学生のリクエストに応え、また教員の研究のために、数多くの知的財産が蓄積されてきました。学内の人も学外の人も図書館ホームページのOPACシステムから簡単に蔵書を検索できるので、ぜひ目当の資料を探してみましょう。

本郷情報センターは図書館内に2つ、校舎内に1つの演習室を構え、各学科各学年に設定された情報処理、製図、英語、プログラミングなどのコンピュータを用いた授業に活用されています。第二演習室は放課後も夜7時まで開放され、授業で出された課題作成に迫られた学生たちがいつもにぎわっています。

開館時間

学業期間

月曜～金曜 8:30～21:00
土曜 10:00～15:00
試験期間中 10:00～17:00

休業期間

月曜～金曜 8:30～17:00
土曜 休館



開架閲覧室(1階)



第二演習室(2階)

射水図書館・情報センター



射水図書館は、創設が1974年で延床面積633㎡、現在の蔵書数は80,456冊(そのすべてが開架図書)です。所蔵雑誌は977種、年間購入新聞は6種あります。特色としては、商船系、電子情報系、国際ビジネス系の幅広い図書や雑誌を受け入れていることです。

1階閲覧室は、近年の改装で、テーブルや椅子、照明設備が新しくなり、とても明るい雰囲気になっています。中央部は閲覧スペース、右側奥は自習スペース、左側手前はPCスペース、左側奥は書庫です。2階には「雑誌・新聞閲覧コーナー」があり、雑誌や新聞のバックナンバーを読むことができます。

この春、最新鋭の教育電算システムが射水キャンパスに導入され、2階の第1情報演習室では学生用に56台の新端末が情報関連の授業などに活用されています。放課後には研究や調査、レポート作成などに取り組む学生の姿も見られます。

射水図書館では、学習基盤整備の一環として、何年もかけて最新の設備が整えられました。今後も大切に活用していただければと思います。

開館時間

学業期間

月曜～金曜 8:30～19:00
土曜 13:00～17:00

休業期間

月曜～金曜 8:30～17:00
土曜 休館



総合メディア教室(1階)



雑誌・新聞閲覧コーナー(2階)

高専共通アカウントのパスワード更新をしましょう

ネットワークや情報演習室設備を利用する際に必要になる「高専共通アカウント」のパスワードの有効期限は400日間です。有効期限が切れると、ネットワークや情報演習室設備を利用できなくなります。有効期限が切れてしまった場合は、情報センターまでお問合せください。

学生会

本郷キャンパス

学生主事

川淵 浩之



失敗は成功のもと

「失敗」という字を見て何と感じるか? 「限界」「時間・経費のロス」「意地」「執念」「努力」「成功への鍵」「挑戦」……。いろいろ行動(実験)して自分の思い通りにならない結果(失敗?)になる場合がある。ですが、自分の考える範囲内で自分の思い通りの結果ぐらいいは、誰にでもできる。自分の思い通りにならない結果(失敗?)にこそ、楽しみがあり、胸躍るワクワク感が生まれる。何もしないで失敗しないより、何かにチャレンジして失敗の方が財産になる。そう思いませんか?

トーマス・エジソン(発明家)の名言:「私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ。」

本郷キャンパス

学生会長
機械システム工学科4年

梅次 琢朗



学生会の役割

私たち学生会は、総務局、会計局、体育局、部活動局、風紀局、広報局、企画局の7つの局で構成されており、総勢32名のメンバーで活動を行っています。

学生会は、学生の代表として行動する組織で、学生の皆さんの意見に耳を傾け、学生が主体となるような活動を行っています。学生一人ひとりのキャンパスライフが、よりよいものになるよう、これからも様々な方向から学生を全力でサポートします。

ぜひ、皆さんの考えや目標を学生会と共に実現させましょう。

学生会スケジュール

4月	第1回あいさつ運動(6日~10日) 対面式(6日) クラブ活動紹介(11日~12日) クラブ長会議(18日) 学生会評議会 各委員会(25日)
5月	学生総会(9日) 第1回環境美化活動(15日) AED講習会(23日) 本郷キャンパス球技大会(24日)
6月	北陸地区高専大会壮行会(13日) 合同球技大会エントリー会議(28日)
7月	北陸地区高専大会(6月30日~7月8日)
8月	サマー献血キャンペーン(5日) 全体集会 全国高専大会壮行会(9日)
10月	第2回あいさつ運動(1日~2日) 全体集会 全国高専大会報告会(1日) 合同球技大会(4日) 第2回環境美化活動(24日)
11月	ロボコン全国大会(25日)
12月	クリスマス献血キャンペーン(9日) 学生総会・学生会長選挙(12日)
1月	第3回あいさつ運動(10日~11日) 学生会評議会(17日)
2月	合同リーダー研修会(15日) 学生会誌 わかたけ 発行

平成30年度 学生会執行部

役職	クラス	氏名
会長	4M	梅次 琢朗
副会長	4E	神田 皆人
	4C	岡山 美紗
総務局 局長	4C	岡山 美紗
副局長	3E	田村 太一
補佐	2E	竹田 康平

役職	クラス	氏名
会計局 局長	4M	矢島 樹
副局長	3E	高稲 大智
補佐	2C	川上 陸斗
	2C	高山 莉彩
	2C	小川 桐佳
体育局 局長	4C	辻角 晃
副局長	3M	小林 菜
補佐	2C	澤田 真歩

役職	クラス	氏名
部活動局 局長	4C	上野 夢実
副局長	3E	小善 惣太
補佐	2M	田村 斗樹
	2M	澤井 琉成
	2E	宮本 杏樹
風紀局 局長	4C	濱住 和加
副局長	3C	伊東 芳起
補佐	3M	重原 隆志

役職	クラス	氏名
広報局 局長	4E	神田 皆人
副局長	4C	土肥 優香
	3C	橋本 康平
補佐	4C	毛利 崇光
	2C	大郷 和暉
	2E	中澤 晟祐

役職	クラス	氏名
企画局 局長	4M	丹野 颯人
副局長	4E	入江 竜也
	3E	高橋 和希
補佐	2C	浦田 杏由那
	2C	酒谷 珠々
	2C	西田 菜々子

仰岳寮(本郷寮生会)

本郷キャンパス

寮務主事

日比 端洋



新入寮生諸君へ

仰岳寮には男女合わせて34名の新入寮生がありました。親元を離れての寮生活は戸惑うことも多いと思います。しかしながら、このような生活は必ず自分自身を成長させてくれるものだと思います。人間関係や寮行事等を通して、1年1年を大切に積み重ね、新入寮生諸君にとってこれからの5年間の寮生活が有意義なものになるよう願っています。

本郷キャンパス

仰岳寮総代
機械システム工学科4年

嶋田 慧斗



寮生活で

寮生活で得られることは多くあります。その一つとして、友達です。他の学生と違って、寮生は1日の大半をともに過ごします。勉強やたくさんの行事など苦楽をともにすることで、そこには深い絆が生まれます。入学当初はあまり喋らなかった人も今では家族と呼べるほど大切なものとなりました。こういった友達は寮生活でしか得られないものだと思います。これからも、友達を大事にして楽しい寮生活を送りたいと思います。

仰岳寮スケジュール

4月	新入寮生オリエンテーション ・開寮(5日) 寮生会総会(19日)
	新入寮生歓迎会(24日)
5月	第1回寮球技大会(16日) 学生寮避難訓練(22日)
6月	寮ボランティア活動(町内清掃)(14日)
7月	焼肉会(9日)
8月	寮内大清掃・部屋替え(8日) 開寮(10日) 開寮(30日)
10月	第2回寮球技大会(17日)
11月	すき焼き会(8日)
12月	たこ焼き会(5日) 寮内大清掃(20日) 開寮(22日)
1月	開寮(9日) 成人祝賀会(17日) 寮生会総会(寮生会総代選挙) ・予餞会(24日)
2月	寮議会(19日) 寮内大清掃(21日) 1~3年生閉寮(23日)
3月	4・5年生閉寮(1日)

本郷寮生会 役員

役職	クラス	氏名
総代	4M	嶋田 慧斗
副総代	3M	東谷内 裕
総務委員長	4M	伊藤 衣里
会計委員長	3C	豊永 弥希
文化委員長	4E	神田 皆人
体育委員長	4M	齊藤 壮琉

役職	クラス	氏名
厚生委員長	4M	奥井 健斗
規律委員長	4E	生田 夏輝
ネットワーク部部長	4E	森本 開
選挙管理委員	4C	伊東 麟
会計監査委員	4M	中田 遼馬

学生会

射水キャンパス

学生主事
水本 巖



上手く行かない方がいい?

「物事、最初は上手くない方がいい。」

私だけの話かもしれないが、何事においても最初から上手くいったためしがなく、かえってスムーズに話が進んでいくと大丈夫かと疑ってしまう。むしろ最初は上手くない方が、よりよい成果に繋がっていくものだ。上手くないなかで、工夫したり考えたり試行錯誤を繰り返す。こういった地道な努力の積み重ねこそが、目標を達成させる。これは経験のなかで学んだ「社会や組織に関する法則」である。

学生諸君もチャレンジせざるを得ない局面に際するだろう。——物事は、最初から上手くはない。だからこそ、決してあきらめてはいけぬ。チャレンジし続ければ、何とかなる(上手くいくこともある)。——心の片隅に留め置いてもらえれば幸いである。

射水キャンパス

学生会長
国際ビジネス学科4年
川上 真菜佳



学生のための学生会へ

私が本年度掲げる学生会は、学生みんなで作る学校です。学生が学ぶための学校という場をより過ごしやすい環境にするため、学生が頑張れるというのが学生会の存在意義であり、学生会役員に限らず全校学生で学校を作りたいと思っています。そこで私は、できるだけ多くの学生に間違ふこと、失敗することを恐れずに積極的に学生会活動に参加してほしいと思っています。学生という期間は、間違えても修正が可能だと言われています。社会に出れば許されなくなることも、学生である間は間違えて、失敗して修正することができて、それを含む多くの経験が私たちの未来を作ります。この方法が正しいのか誰も、もちろん私もわかりません。それでも私は全校学生の学校に対する思いを背負って、学生会長としてこれからも尽力します。

学生会スケジュール

4月6日	対面式、クラブ紹介
5月26・27日	北斗祭
6月25日	校門指導
6月30日～7月8日	北陸地区高専大会
7月12日	カッターレース大会
10月4日	合同球技大会
11月5日	校門指導
1月23日	学生会長選挙
2月22日	卒業生を送る会

平成30年度 学生会執行部

役職	クラス	氏名	役職	クラス	氏名
学生会長	K4	川上 真菜佳	文化委員長	K3	山本 ひかる
副会長	I4	野崎 真之介	文化副委員長	K2	山本 遥
	S4	松浦 光朔	交通委員長	K4	難波 宇大
会計	K4	赤澤 夏葵	交通副委員長	S3	有本 香織
	K2	須和 桃子	美化委員長	I3	西田 華乃音
書記	K4	西川 若奈	美化副委員長	S3	松生 愛海
	S3	戸田 藍璃	生協委員長	S4	澤井 孝那
総務	K4	上塩 未久	生協副委員長	K4	大田 理紗
	K3	花島 明音	風紀委員長	I4	寺林 聖斗
			風紀副委員長	I4	寺林 大樹
			体育委員長	K3	宮下 日向子
			体育副委員長	I3	小森 美和
				K3	栗原 真菜
				K2	奥井 愛花
				K2	山口 夏七葉

和海寮(射水学寮会)

射水キャンパス

寮務主事
梶 伸司



和海寮での生活

和海寮には、県内、県外、海外からの多数の学生が入寮しています。中学を卒業したばかりの1年生から20歳を過ぎた高学年までの学生が、思春期の多感な時期を一緒に過ごしています。家族以外の人と非常に近い距離で生活することは簡単なことではなく、また様々な規則を守り、掃除などの貢献をすることも求められます。寮での共同生活を通して自分とは何者かを客観的に見つめ、将来、社会へと羽ばたくための礎を築いてください。

射水キャンパス

学寮会長
国際ビジネス学科4年
難波 宇大



人から学ぶ

寮生にはいつでも友人と直接話することができる、勉強を教えてもらうことができる、といったような特権があります。また、食堂やお風呂、イベントなど、寮での生活を通して同級生だけでなく先輩や後輩とも関わることで、様々な考え方を学ぶこともできます。寮生活を通して日々成長していく中で憧れや目標を見つけて、部活なり勉強なり自分のやりたいことに熱中し、後悔の無い生活を送ってほしいです。

和海寮スケジュール

4月	開寮・部屋移動(5日) 新入寮生歓迎会(24日)
5月	閉寮(4日) 開寮(7日) 風紀検査(12日)
6月	防火訓練・自転車点検(21日)
7月	花火大会(18日) 寮内大掃除
8月	閉寮(7日)
9月	開寮・部屋移動(21日)
10月	高船学科4年生大型練習船長期実習開始(2日)
11月	防災訓練(8日) 風紀検査 ハロウィンパーティー
12月	クリスマス会 スポーツ栄養講座 閉寮(22日)
1月	開寮(8日) 学寮会長選挙(14日)
2月	文集「かもめ」発行 寮内大掃除 5年生退寮 閉寮(26日)

射水学寮会役員

役職	クラス	氏名	役職	クラス	氏名
学寮会長	K4	難波 宇大	環境委員長	S4	佐藤 洋人
男子寮長	S4	池田 純信	環境副委員長	K3	小坂 每恵
女子寮長	K4	小熊 優歌	風紀委員長	S4	森 峻輔
広報委員長	K4	赤澤 夏葵	IT管理委員長	I3	廣野 幸里
広報副委員長	I4	岡本 雅生	IT管理副委員長	I3	河合 美樹
企画委員長	K4	上村 胡桃	低学年長	I3	三田 悠生
企画副委員長	K4	大庭 陸	副低学年長	I3	弘光 哲哉
会計委員長	K4	前田 悠登	フロア長	K3	星野 朱香
会計副委員長	K4	宮前 亜美	副フロア長	S3	戸田 藍璃
設備委員長	I4	伊野 友恵	一階フロア長	S4	小田 楓太
設備副委員長	I4	小間 翔悟	二階フロア長	I4	川越 光
			三階フロア長	S3	福島 鴻生
			四階フロア長	I3	増井 太一



北斗祭 第10回高専祭

2018年5月26・27日

2018年5月26・27日、第10回高専祭～北斗祭～が射水キャンパスで開催されました。Paint!—集まれ、輝け、あなた色—のテーマのもと、ステージでのパフォーマンス、模擬店、展示、思い思いの仮装など、それぞれの場面で学生たちの個性(いろ)が集まり、輝く最高の2日間でした。両日とも天候に恵まれ、多くの来場者の皆さんにお越しいただき、富山高専のアピールの場となるとともに学生間の交流や成長に繋がるよい機会となりました。

北斗祭広報委員長 国際ビジネス学科4年 小幡 愛美



北斗祭を終えて

北斗祭
実行委員長

国際ビジネス学科4年

上村 胡桃



今年の北斗祭のテーマは「Paint! 一集まれ、輝け、あなた色—」でした。この富山高専射水キャンパスの学生は個性豊かなので、1人1人の「色」が活きるような学園祭にしたいという思いから実行委員みんなで決めたテーマです。

昨年の夏休みが終わったころから北斗祭当日までの半年以上の道のりは長いようであっという間でした。準備の段階では前日に近づくにつれ、楽しみな気持ちが薄れていくほどに大変なこともありましたが、北斗祭が終わり、たくさんの「楽しかったー!」という声をいただき、北斗祭運営に関われて本当によかったと感じました。北斗祭に関わってくださったすべての方々にとって素敵な思い出となっていればこれ以上嬉しいことはないです。

最後に、北斗祭実行委員会、教官方、学生課の方々、北斗祭を支援していただいたすべての方々から感謝を申し上げます。



北斗祭
実行副委員長

電子情報工学科4年

野崎 真之介

北斗祭の運営側として

私は今回の北斗祭で主に他委員会のフォロー、バザーを担当しました。どちらも進度が遅かったり、ものが集まらなかったりと不安要素満載の準備期間でしたが、学生全体、教官方、学生課の協力もあり、無事北斗祭を成功させることができました。運営側として、5年生の方には「最後の北斗祭がこれでよかった」と、下級生には「こんな北斗祭を今度は自分たちの手で作ってみたい!」と思ってもらえたなら本望です。

北斗祭を終えて

北斗祭実行委員会
企画担当

国際ビジネス学科
4年

竹腰 卓希

ステージ企画を担当するこの委員会は、北斗祭の花形です。その割には、書類作成などの仕事が多く地道な作業が多かったです。この仕事量を私1人でこなすのはかなり難しいと思います。当日もステージ横で待機する時間が長く、想像以上に忙しいです。私がこの仕事をやり遂げられたのは、一緒に頑張ってくれる委員のみんながいたからです。「楽しい」より「大変」という気持ちが勝るけど、誰よりもやりがいを感じられたと思います。



実習場担当として

北斗祭実行委員会
実習場担当

商船学科4年

荒川 翔太

第10回北斗祭、高専生活2回目の北斗祭を、私は実習場委員会委員長として参加しました。私の仕事は、若潮丸の体験航海を運営することでした。北斗祭当日の天候は悪くなく、体験航海自体大きなトラブルもなく無事に終わることができました。山田教官をはじめご協力くださった教官方、学生課職員の方々、若潮丸及び実習場職員の方々、委員や手伝ってくれた学生達、その他多くの関係者の方々、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



北斗祭を振り返って

鉄道部部长(本郷)
機械システム工学科
3年

田中 椋大

今回の展示では、スライドを用いた車両の紹介、バス時刻の掲載など、これまでの展示では行っていなかったことを中心に力を入れてきました。例年走行させているカメラカーの風景がつまらない、との意見をいただいたので、対策としてレイアウトを立体的に交差させる等、景色の充実化を図りました。

しかしながら輸送中にジオラマに細かな損傷があり、展示する際には修繕の跡が目立つものとなりました。現在、ジオラマを新しく製作しており、次回展示にはお披露目できそうです。準備時間が大変短く大変でしたが、無事に終わることができてよかったです。



新任教員紹介



一般教養科 講師
紙谷 智

本郷キャンパス

共に学びましょう

昨年度まで、中学校、高等学校の英語科教員として勤務しながら、ことばの理解、習得や上達に関わる研究をしてきました。これまでの経験を活かして、皆さんの学生生活を充実させるお手伝いができればと思っています。どうぞよろしくお祈りします。



商船学科 准教授
松村 茂実

射水キャンパス

集大成は母校で

1983年卒業、外航海運会社に就職。以来、船舶職員として船舶の運航と機関管理を、また陸上では船舶の修繕、建造、船舶管理と、一貫して船と係わってきた。そして、35年の時を経て後継者を教育・育成する機会が与えられた。あたかも人生の集大成は母校で…というように。

学級担任一覧

本郷キャンパス

	機械システム 工学科	電気制御 システム工学科	物質化学工学科
第1学年(担任)	○高越 義一(一般教養)	笠谷 昌弘(一般教養)	紙谷 智(一般教養)
(副担任)	増山 圭一(機械)	櫻井 豊(電気)	津森 展子(物質)
第2学年(担任)	○河原 治(一般教養)	山腰 等(一般教養)	森田 康文(一般教養)
(副担任)	田尻 智紀(機械)	金子 慎一郎(電気)	間中 淳(物質)
第3学年	喜多 正雄(機械)	井澤 正樹(電気)	峰本 康正(物質)
第4学年	池田 英俊(機械)	藤崎 明広(電気)	森 康貴(物質)
第5学年	井上 誠(機械)	多田 和広(電気)	後藤 道理(物質)
3~5学年学補佐	岡根 正樹(機械)	古川 裕人(電気)	高廣 政彦(物質)

○=学年代表

射水キャンパス

	電子情報工学科	国際ビジネス学科	商船学科
第1学年(担任)	大竹 由記子(一般教養)	星野 朱美(一般教養)	櫻井 秀人(一般教養)
(副担任)	伊藤 尚(研究高度化推進センター)	山本 有希(一般教養)	○岡部 寛子(一般教養)
第2学年(担任)	林 直人(一般教養)	塩見 浩介(国際)	向瀬紀一郎(商船)
(副担任)	○近藤 周吾(一般教養)	那須野育大(国際)	松村 茂実(商船)
第3学年(担任)	○篠川 敏行(電子)	萩原 信吾(国際)	モリス・チャールトン・ビル(一般教養)
(副担任)	クーパー・トッド(一般教養)	松原 義弘(国際)	笹谷 敬二(商船)
第4学年	○由井 四海(電子)	村山 雅子(国際)	西井 典子(商船)
第5学年	的場 隆一(電子)	○長谷川 博(国際)	中谷 俊彦(商船)
実習生			河合 雅司(商船)

○=学年代表

学生相談室

「学生相談室」は、学生の皆さんが充実した学生生活を送れるようにサポートを行うことを目的として設置されています。

皆さんが高専で過ごす時間は、思春期とも重なる5年(商船学科は5年半)の長きに亘りますが、自分と向き合いながら社会に巣立つための準備をじっくり行うための期間となります。様々な悩みや迷いに遭遇するかもしれませんが、問題を一人で抱え込まないでほしいと思います。悩みの解決について一緒に考える伴走者として、また何となく話をする相手としてでもよいので、相談室を気軽に訪ねてほしいと思います。

学生相談室は、相談室員(教員)、看護師及び資格を持つカウンセラーで構成されています。なお、保護者の方の学生に関する相談も受けています。

本郷キャンパス

相談を希望される場合の連絡先

TEL 076-493-0533(保健室)

※カウンセラーへの相談は、保健室で予約をしてください。

相談室スケジュール

相談室員(各学科教員)

時間：月～金曜15:30～17:00

場所：月～木曜は各教員の自室、金曜のみ学生相談室

カウンセラー

時間：月・木曜10:00～17:00、火～水曜13:00～17:00

場所：相談室(学務課の隣)

射水キャンパス

相談を希望される場合の連絡先

TEL 0766-86-5140(保健室)

メール soudan@nc-toyama.ac.jp(相談室長と看護師宛)

相談スケジュール

相談室員(各学科教員)

時間：月・木曜15:30～17:00

カウンセラー

時間：火・水・金曜10:00～17:00

場所：学生相談室(保健室の隣)

備考：試験期間中、長期休業中も事前連絡いただければ対応させていただきます。

KOSEN 健康相談室

TEL 0120-502412

24 時間年中無休・無料相談受付

(学校名を告げる必要がありますが、匿名で相談できます)

平成30年度校務分担

	本郷キャンパス			射水キャンパス			
教員会議	議長	櫻井豊	(電気)	議長	岡部寛子	(一般教養)	
専攻科	専攻科長	高橋勝彦	(機械)	専攻科長	阿蘇司	(電子)	
	エコデザイン工学専攻担当	豊嶋剛司	(機械)	副専攻科長・ 制御情報システム工学専攻担当	古山彰一	(電子)	
		北村拓也	(電気)	国際ビジネス学専攻担当	清剛治	(国際)	
		山岸正和	(物質)	海事システム工学専攻担当	経田僚昭	(商船)	
教務主事室	主事	柴田博司	(電気)	主事	塚田章	(電子)	
	主事補	吉川文恵	(機械)	主事補	秋口俊輔	(電子)	
		石田文彦	(電気)		海老原毅	(国際)	
		中島栄次	(物質)		福留研一	(商船)	
		長谷川貴之	(一般教養)		寺崎由紀子	(一般教養)	
学生主事室	主事	川淵浩之	(物質)	主事	水本巖	(電子)	
	主事補	浅地豊久	(機械)	主事補	宮崎衣澄	(国際)	
		西島健一	(電気)		山田圭祐	(商船)	
		高松さおり	(物質)		楽山進	(一般教養)	
		仁木康浩	(一般教養)		山村啓人	(一般教養)	
寮務主事室	主事	日比瑞洋	(一般教養)	主事	梶伸司	(商船)	
	主事補	百生登	(電気)	主事補	門村英城	(電子)	
		福田知博	(物質)		岡本勝規	(国際)	
		横山恭子	(一般教養)		松村茂実	(商船)	
		山本久嗣	(ソリューションセンター)		大橋千里	(一般教養)	
学生相談室	室長	足立蘭子	(一般教養)	室長	早勢欣和	(電子)	
	相談員	増山圭一	(機械)	相談員	秋口俊輔	(電子)	
		古川裕人	(電気)		宮崎衣澄	(国際)	
		篠崎由紀子	(物質)		山田圭祐	(商船)	
		戸田克己	(学務課長)		大橋千里	(一般教養)	
		山田貴子	(学務課看護師)		前田暁子	(学生課看護師)	
ソリューションセンター	センター長	袋布昌幹	(物質)	副センター長	河合雅司	(商船)	
	副センター長	浦風和裕	(ソリューションセンター)		センター員	那須野育大	(国際)
	センター員	石黒農	(ソリューションセンター)				
		山本久嗣	(ソリューションセンター)				
研究高度化推進センター	センター長	高田英治	(電気)	副センター長	伊藤尚	(研究高度化推進センター)	
	副センター長	福田知博	(物質)		センター員	クーパー・トッド	(一般教養)
	センター員	北村拓也	(電気)				
		太田孝雄	(研究高度化推進センター)				
		中田由紀子	(総務課長補佐企画室長)				
		落合聡	(総務課研究支援担当主査)				
		湯畑功二	(総務課人事労務担当主査)				
	小孫渉	(学務課)					
国際教育センター	副センター長	佐瀬直樹	(機械)	センター長	保前友高	(商船)	
	センター員	多田和広	(電気)	副センター長	経田僚昭	(商船)	
		間中淳	(物質)	センター員	古山彰一	(電子)	
		富田尚	(一般教養)		清剛治	(国際)	
図書館情報センター	副センター長	宮崎真矢	(一般教養)	センター長	椎名徹	(電子)	
	主幹	北村拓也	(電気)	副センター長	松原義弘	(国際)	
	センター員	石黒農	(ソリューションセンター)	主幹	萩原信吾	(国際)	
		井澤正樹	(電気)	センター員	早勢欣和	(電子)	
		山岸正和	(物質)		西井典子	(商船)	
				近藤周吾	(一般教養)		
入試広報センター	センター長	河合孝恵	(物質)	副センター長	横田数弘	(一般教養)	
	副センター長	佐藤圭祐	(電気)		主幹	山口晃史	(電子)
	主幹	坂本佳紀	(機械)			宮重徹也	(国際)
		太田孝雄	(研究高度化推進センター)			副主幹	山田圭祐
	仁木康浩	(一般教養)					

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)



シンガポールとタイから 短期留学生来校

4月9日から6月29日まで、シンガポール・ナンヤンポリテクニクの学生を、電気制御システム工学科2名、電子情報工学科2名、短期留学生として迎え入れました。留学生たちは指導教員のもと、研究課題に取り組み、6月末の発表会で成果を報告しました。また、6月4日から7月27日には、タイ・キングモンクット工科大学(KMITL)の学生を、本郷キャンパスで6名、射水キャンパスで6名、受け入れました。相互に交歓を深めるべく、ナンヤンポリテクニクの学生、KMITLの学生、本校学生との交流会を開催いたしました(射水6月5日・本郷6月22日)。

本校名誉教授が瑞宝小綬章を受章

平成30年春の叙勲において、教育研究功労者として、石森繁樹先生と宮谷大作先生が

瑞宝小綬章を受章されました。石森先生は商船学科教授をお務めになり、富山湾の寄り回り波の実態解明など、海洋気象に関する研究で顕著な業績を挙げられました。宮谷先生は、旧・物質工学科教授として、オゾン層破壊の主因となるフロンを無公害化する技術の開発など、環境保全分野で特筆すべき成果を残されました。両先生とも教務主事を歴任し、校務運営の要を担われました。

高校総体で陸上部大活躍！ 初の県大会男子総合優勝



富山県総合運動公園陸上競技場で開催された、富山県高等学校総合体育大会陸上競技大会(5月25日～28日)において、男子総合優勝の栄冠を勝ち取りました。男子200m、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投の優勝をはじめ、多くの種目で入賞し、全般的に優秀な成績を収めることができました。

福井県営陸上競技場(9.98スタジアム)で開催された、北信越高等学校総合体育大会(6月14日～17日)にも多くの選手が出場いたしました。舘田瑛史さん(電子情報工学科3年)は、ハンマー投では61m66の大会新記録で優勝、円盤投2位、砲丸投4位と好成績を獲得することができました。8月2日～6日に三重県伊勢市の三重県営総合競技場陸上競技場(スポーツの杜伊勢)で開催されるインターハイには、舘田さんの他、三段跳5位の

林勇希(国際ビジネス学科3年)さん、三段跳6位の川口陽南太(電子情報工学科3年)さんが出場いたします。

県大会優勝者

男子200m 谷口 響(電子情報工学科2年)
男子三段跳 川口 陽南太(電子情報工学科3年)
砲丸投 円盤投・ハンマー投 舘田 瑛史(電子情報工学科3年)

全国高等学校総合文化祭 将棋大会出場権獲得

5月19日、第54回全国高等学校将棋選手権富山県大会が、北日本新聞社で開催されました。本郷キャンパス囲碁・将棋部は大いに善戦し、強豪としての矜持を見せることができました。女子個人戦、男子団体戦、女子団体戦で第1位・県代表となり、全国大会出場権を獲得いたしました。全国大会は、8月9日・10日に長野県千曲市のホテル圓山荘で開催される予定です。

全国大会出場者

女子個人戦：湊 梨緒(物質化学工学科3年)
男子団体戦：橋本 電大(電気制御システム工学科3年)
井田 雅也(物質化学工学科3年)
本田 一期(電気制御システム工学科2年)
女子団体戦：小竹 佑佳(物質化学工学科2年)
高山 莉彩(物質化学工学科2年)
大田 一華(物質化学工学科1年)



入試関連イベント

学校説明会

中学3年生および保護者対象

新川文化ホール(魚津市) 7/15(日) 15:00～16:00
本郷キャンパス 7/16(月・祝) 15:00～16:00
射水キャンパス 7/22(日) 15:00～16:00

秋季オープンキャンパス

中学生対象

本郷・射水キャンパス
11/10(土)・11/18(日)

夏季オープンキャンパス

中学生対象

本郷キャンパス
8/4(土)・8/5(日) (午前の部) 9:00～11:40
(午後の部) 13:00～15:40
射水キャンパス
8/8(水)・8/9(木)・8/10(金) 9:00～11:40

進学個別相談会

中学3年生および保護者対象

本郷・射水キャンパス
11/25(日)・12/8(土) 9:30～12:00
13:30～16:00

申込・
お問い合わせ

本郷キャンパス学務課

TEL 076-493-5498 FAX 076-493-5488
E-mail: gaku@nc-toyama.ac.jp

射水キャンパス学生課

TEL 0766-86-5145 FAX 0766-86-5130
E-mail: nyushi@nc-toyama.ac.jp